



(国際ロータリー会長 ジェニファーEジョーンズ)
2022-2023年度 国際ロータリーのテーマ
「IMAGINE ROTARY (イマジン・ロータリー)」
(第2660地区ガバナー 宮里唯子)

9月 会員夫人誕生日 おめでとうございます

9月 9日 黒川友二会員夫人 和美様 9月10日 遠藤友一郎会員夫人 睦子様
9月23日 白野陽一会員夫人 弘美様

本日の卓話者

木村 弘之 氏 (きむら ひろゆき)

日本赤十字社大阪府支部 振興課長

<略歴>

平成11年日本赤十字社大阪府支部入社。大阪赤十字病院を経て令和元年から現職。

災害救護要因として国内外にわたり活動

<主な災害救護活動>

平成18年 ケニア洪水災害

平成19年 新潟中越沖地震

平成23年 東日本大震災

平成28年 熊本地震

平成29年 河内長野市台風災害 (ボランティア)

平成30年 大阪北部地震



本日入会された
山川正時会員、平野浩希会員

WEEKLY BULLETIN
**OSAKA
NAMBA**
大阪難波ロータリークラブ週報

今日の卓話	次回の卓話	ロータリー4つのテスト
<p>9月8日 (木)</p> <p>テーマ 「日本赤十字社の活動について」</p> <p>卓話者 木村 弘之 様 村上 竜政 様</p> <p>卓話担当者 伊藤仁社会奉仕委員長</p>	<p>9月15日 (木)</p> <p>テーマ 「自己紹介」</p> <p>卓話者 川口栄計 会員</p>	<p>言行はこれに照らしてから</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

第9回例会 本日のプログラム

開 会 (点鐘) 通算第2153回例会

- ・ロータリーソング 「ROTARY」
- ・ソングリーダー 岡本真一郎会員
- ・来客紹介 友好委員
- ・ストレッチ

会 食

- ・歌とピアノ 木下裕子
- ・会長報告 林 博之会長
- ・幹事報告 松田禎胤幹事
- ・委員会報告 各委員長
- ・出席報告 出席委員
- ・ニコニコ箱報告 S A A
- ・卓話

閉 会 (点鐘)

♪ R-O-T-A-R-Y

R-O-T-A-R-Y, That spells Rotary.
ROTARY is known on land and sea.
From North to South,
From East to West,
He profits most who serves the best;
R-O-T-A-R-Y, that spells Rotary.

ニコニコ箱報告

前回の合計	¥78,000
本日までの累計	¥728,000 (73%達成)
9月末の予算額	¥990,000

出席報告

前回 9月1日		3週前 8月4日	
会 員 総 数	63名	出席免除を除く MUを含む	修正出席率69.64%
出 席 会 員 数	44名 ZOOM出席0名含		
出 席 率	74%		

9月度定例理事会議事録

1. 周年積立金について、今期も年間一人1万円を継続して積立し、目標額に達したら一旦終了とする事が承認された。
2. ロータリーデーについて、テーマは、“SDGs目標5「ジェンダー平等を実現しよう」”、基調講演は谷口真由美さんに依頼することが承認された。
3. 道頓堀リバーフェスティバルについて、11月12日(土)、13日(日)に12カ所の会場で開催され、エンドポリオの募金活動と、大阪府社会福祉協議会のバザーの支援を大阪難波RACメンバーと共に活動予定。協賛金としてキッズダンス2万円、よさこい2万円を青少年奉仕委員会より拠出することが承認された。
4. ポリオデー(10月24日)として10月6日(木)地区よりポリオに関する卓話にお越しいただき、募金箱を回すことが報告された。
4. 夏の家族会について、総勢74名参加予定であることが報告された。
5. 女性会員について話し合われた。

これからの予定

- 9月15日 (木) 例会・クラブ協議会
- 9月17日 (土) 地区国際奉仕・社会奉仕合同委員長会議
- 9月22日 (木) 例会
- 9月23日 (金) ~25日 (日) 秋のRYLAセミナー
- 9月27日 (火) 友好ゴルフコンペ 9月29日 (木) 例会
- 10月 6日 (木) 例会・定例理事会 10月 8日 (土) 公共イメージ向上セミナー
- 10月13日 (木) ガバナー公式訪問

大阪難波ロータリークラブ 例会日時 毎週木曜日 12:30
創立 1976年8月5日 例会場 スイスホテル南海大阪7階 芙蓉の間
会長: 林 博之 幹事: 松田禎胤 会報・雑誌委員長: 川井宗次 事務局: 安部亜希子
事務局 〒542-0076 大阪市中央区難波5-1-60 スイスホテル南海大阪5階
TEL 06-6632-3956 FAX 06-6632-3957 e-mail osaka-namba@poem.ocn.ne.jp

9月は「基本的教育と識字率向上月間/ロータリーの友月間」です

前回の記録 第8回 9月1日(木)

★来客紹介：段友好委員

ゲストスピーカー
井戸 正弘 様



★会長報告：林会長

1. 今回からは「SDGs」について解説をしていきたいと思ひます。そもそもSDGsとは何か？という事お送りしていきたいと思ひます。最近TVでもよくやっているような言葉ですけども、SDGsというのは英語に直すと「サステナブル・デベロップメント・ゴールズ」という日本語に直すと「持続可能な開発目標」と言ひます。日本語に直しても、あまりピンとこない人が多いかなと思ひます。世界中の誰一人取り残されずに達成しましょう。という17の目標の事を言ひます。例えば、貧困の問題また教育の問題や気候変動の問題、男女差別ジェンダーの問題とか、あらゆる問題が今世界中で起きています。そういった問題を世界中の誰一人も取り残されることなく解決しましょう。という目標のことです。これは2015年に国連に加盟しているすべての国がこれらを取り組んで行こうと、決まったもので2016年から2030年までの15年間で達成しようという目標です。これから解説で1から17の目標をすべて解説していこうと思ひますが、大事なことは、今世界中で起きている問題を知ることが大事だと思ひます。そして、自分たちに今何ができるか？という事を一緒に考えていくという事が大事だと思ひます。この2030年までに、自分たちができること、そして今、世界で何が起きているのか？1から17の目標をできるだけわかりやすく解説していきたいと思ひます。ロータリー活動自体がSDGsに関わっているという事も説明していきます。

★幹事報告：松田幹事

1. 本日例会終了後、定例理事会を開催させていただきますので、理事役員の方はご出席下さい。
2. 9月15日例会終了後、伴井ガバナー補佐をお迎えし、クラブ協議会を開催させていただきます。各委員長の方はご出席下さい。ご都合の悪い場合は代理のご出席をよろしくお願い

いたします。また、特に入会3年未満の方も是非ご出席下さい。

3. 中川博之会員、林会員ご推薦の平野浩希氏と、千田会員、林会員ご推薦の山川正時氏の入会が決定し、インフォメーションと入会式が行われました。
4. ロータリーレート変更のお知らせです。9月のロータリーレートは1ドル=139円となっております。
5. 来期プロサッカーJリーグ昇格を目指しておられますFC大阪様より応援のお願いです。入場チケットを頂いておりますので、皆様是非応援にお出かけください。チケットは、受付に置いておりますのでお持ち帰りください。

★委員会報告

◇友好委員会：中川博之委員長

1. 9月4日開催させていただきます夏の家族会、7:30スイスホテル5F出発しますので、よろしくお願い致します。また、現地集合の皆様もお気をつけてお越し下さい。
2. 本日友好ゴルフコンペのご案内を入れさせていただきました。是非ご参加ください。

★ニコニコ箱報告：三島会員

- 林 博之：山川さん、平野さん、ご入会おめでとうございます。大阪難波ロータリークラブ楽しみましょう。
- 松田禎胤：平野さん、山川さん、ようこそ大阪難波ロータリークラブへ。
- 谷口 勉：入会記念日、内祝。
- 大地庸元：パナソニック元役員の井戸様に卓話お願いしています。ご清聴よろしくお願い致します。
- 千田忠司：平野さん、山川さん、ご入会おめでとうございます。
- 石川益三：10年ぶりに青少年奉仕委員会に出席しました。RACの福永会長と加藤幹事が出席されていました。そして、伴井ガバナー補佐が出席されておりました。
- 岡西豊博：山川さん、平野さん、入会おめでとうございます。これからもよろしくお願い致します。
- 三島敏宏：井戸様、卓話勉強させていただきます。山川さん、平野さん、ご入会おめでとうございます。
- 岡本真一郎：暦の上で秋になりました。残暑お

見舞い申し上げます。

長崎 武：暑さに負けず頑張りましょう!!

段 正峰：長期欠席お詫び。

平野浩希：本日から入会させていただきます平野です。皆様よろしくお願ひいたします。

山川正時：晴れて入会することができました。皆様どうぞ宜しくお願ひ致します。

★卓話 テーマ 「Z世代マーケティングによる逆転の競争戦略」
卓話者 井戸 正弘 様
卓話担当者 大地庸元会員

プロローグとして、日本の国運77年周期ということで、最近言われ出し、なぜ言われたかと言ひますと、戦後277年がありますように1945年から77年が今年になり、その前の77年前を振り返ってみますと、明治維新であり、それからいくと2022年は明治維新から154年目ということになります。そして次の77年は2099年であります。どんな日本になっているのだろうかということも踏まえて国運77年周期の中で今の課題を考えていきたいと、こういうプロローグとなっております。2022年は、新型コロナウイルス、気候変動問題、ロシアのウクライナ侵攻など非常に暗い出来事ばかりからスタートしている2022年であります。しかしながら一方では、まだ日本はGDPでは世界第3位だと、あるいは世界の自動車メーカーを持っているのだと、しかも大震災に見舞われても、社会不安もなく乗り越えてきたという、日本国民に独特の安心感が今漂っています。しかし、1人当たりの名目GDPは38か国のうち19位となっております。この一番の問題点は、新たなビジネスを生み出す発想や挑戦が重要な中で未来の人材育成をしてこなかったというのが本当に今大変な問題として取り上げられています。明治維新では伊藤博文のような20代の若者が日本を引っ張ってきました。そして戦後、本田宗一郎のような若者が日本を変えていきました。今その人材は誰なのかということが問われています。私もパナソニックで色んな新規事業をやってきた中で、20代、30代のIT世代に尽きるというのが私の認識であります。私ももう65歳になり程遠いのですが、このIT世代、すなわちZ世代という事であり、これが私が本日お持ちしたテーマであります。リーダー企業の強みは絶対的であれとほとんどの企業が諦めています。しかしリーダー企業の強みを弱みにする方法は必ずあります。そんな中でこのテーマはZ世代マーケティングによる逆

転の競争戦略をテーマにさせていただきます。

Z世代とはスマートフォンやタブレットを使いこなせて、地球の裏側の出来事をリアルタイムで見ている世代という言ひ方、26歳から10歳くらいをZ世代と言ひます。3割がスマートフォンを1人3時間以上使っていると、こういう世代であります。こういう世代に日本の新しい改革を求めていこうというのが今日のテーマであります。政治国家、日本の挑戦のやるべきこと3つあります。1つは成熟市場への投資、これは既存の商品では儲からない、新商品を自社で開発していかないと儲からない、これは当たり前であります。そして成長支援への投資、他社に勝つためには新ビジネスモデルを開発していかないと、何十年も前のビジネスモデルを続けていくと会社として成り立たないです。そして、未開拓支援への投資、これは自社が新しい支援を立ち上げるためには新規市場の創出をやらないといけない、この3つを経営者の頭の中で分かっているのにすぐに結果がでないでやりません。これをやらない結果次の次世代型、未来型をどう見るかという疑問がずっと続きます。今までの経験値では解決しない、まったく新しい発想が必要になってきます。実は経済の未来はZ世代にあるというのが1つの結論であります。私は副社長時代に宣伝もやっていました。その当時宣伝とは一体何なのか、物をアピールするための宣伝は世の中にいっぱいまんえんしていますが、企業の社会的責任、これは利益追求だけでなく、利益以外のものを大切に、自社が世の中に役に立つ、こういうものを示すべき宣伝もあるのだということで社内でも色々ありました。パナソニックも社会貢献、社会的責任を考えながら物を作るという姿勢を絶えず進めています。今日は若い人達の発想、意外性というものを重視した考え方が大事ですと、実は私がやってきた新規事業の中に置いて、その視点をぬけるとなかなか抜け出せないというのは今私が経験として持っている現実であります。先日亡くなられた稲盛さんはよく、「群れから離れてリスク覚悟で最初に飛び込むファーストペンギンであれ」とおっしゃっていました。これは非常に私も大好きな言葉であります。改めて皆様の周り、会社の方々のZ世代に期待したいと思います。



夏の家族会



2022年9月4日（日曜日）琵琶湖の白ひげビーチで「夏の家族会」を開催し、74名の皆さんにご参加頂きました。当日はお天気にも恵まれてバーベキュー大会や、水上バイクでのトーイング、スイカ割り・ビーチバレー対決など参加メンバーの皆さんそれぞれで、楽しい夏の思い出を作って頂きました。

バーベキュー大会では、西野元会長から新鮮な海鮮セットを、荒山会員からは厳選されたお肉セットをご提供頂き、林会長からはサプライズで松茸をご提供頂いて、何とも豪華な食材でバーベキューを満喫させて頂きました。

また、川口元会長、米澤会員、清水会員、三島会員からウイスキー、焼酎、ビールをご提供頂き、ドリンクを飲みながら楽しいひと時を過ごさせて頂きました。

そして、締めめのデザートとして松田幹事からアイスクリームをご提供頂き、ご参加頂いたお子さんも大喜びして下さいました。

今回の会場となった白ひげビーチは、川口元会長に手配して頂き、水上バイクもご提供頂き、また、食材、ドリンクも各会員からのご提供で豪勢にして下さったお陰で、会員だけでなくご家族やご友人ら参加メンバー全員で親睦を深める事ができ、2022年最後の夏を満喫させて頂く事ができました。ご参加頂いた皆さん、ご協力頂いた皆さん、夏の楽しい思い出をありがとうございました。 文責：中川博之





~夏の思い出~

